

## 平成 25 年度第 3 回さぬき市子ども・子育て会議

1 日 時 平成 26 年 3 月 20 日 (木) 18 : 00 ~ 19 : 00

2 場 所 さぬき市福祉事務所 201・202 会議室

3 出席者

[委 員] 佐竹勝利 杉浦修造 福西マリコ 鈴木貴子 福澤美香  
大西由美 宮本暢子 筒井美佐子

[事務局] 和田浩二 中村淑子 安富眞司 多田千稔 佐藤仁美 山田裕子  
六車正徳 谷訓昌 永坂邦彦 黒川久美子 多田端子

[傍 聴] 0 名

4 議 題

アンケート調査結果報告について

子ども・子育て支援事業計画における量の見込みについて

その他

5 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
事務局	只今から平成 25 年度第 3 回さぬき市子ども・子育て会議を開会します。本日の会議ですが、さぬき市子ども・子育て会議条例第 5 条第 3 項の規定にあります、過半数を超えないと開くことができないとあります。本日は委員総数 15 名中 7 名のご出席であります、1 名委任状をいただいておりますので会議が成立していることをご報告いたします。それでは議事に移りたいと思います。さぬき市子ども・子育て会議条例第 5 条第 2 項の規定により、会長は会議の議長となることとなっております。会長、議事の進行をお願いします。
会長	進めてまいりたいと思います。まず 1 つ、アンケート調査結果の報告について事前配布されていると思いますので目を通していただいたと思います。前回色々ご意見いただきましたので特に今日追加でということもないと思いますが、今日は天候の関係もありますしあまり遅くならない程度にすすめていきたいと思います。特に結果報告書のまとめと自由記載についてはご発言になりたい方いらっしゃいますか。自由意見は個人の事情もありますし、色々できています。そういったことも踏まえて今後の施策に生かしていきたいと思います。他はよろしいでしょうか。
委員	見ればみるほど言いたいことは色々あって、言い出したらきりがなし。無

	理だろうなと思うこともありますし。
会長	こういった意見もあると認識していただいて、次に進みたいと思います。次、「子ども・子育て支援事業計画における量の見込み」これを協議しないといけない。事務局から説明をお願いします。
事務局	<b>【子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」報告書説明】</b>
会長	わからないところは質問をしていただきたいと思います。数字を見ていきますと、現在が実数で潜在がアンケート結果ということですか。
事務局	実際現在就労状況がこうである、というところとゆくゆくはこうしていきたい、就労したいという意見が多ければ多いほど増えていくという。
会長	網掛け部分はなんですか？
事務局	割合が多いところですよ。今は働いていないけどフルタイムで就労したいという人が多くなっています。
会長	それが増えるほど潜在が多くなるということですね。国の示した方法で出したらこうなるということですが、市の方で目標を設定するとなるとどういう方法で考えてますか。
事務局	平成 23～25 年の実績に基づいて数字を出していこうかなと思っています。
会長	実績は現在のものですよ。そこから目標をどうだしますか。
事務局	多少上回るくらいで。あまり上回ると、今後その差分をどう埋めていくかという問題がでてきますので。次報告するときはあまりかけ離れていない数字を出していきたいと思います。要望等もありますのでそれを踏まえて計画を作っていきたいとおもっております。極端に言えば、アンケートから公園の要望が非常に多いのに計画の中では1つしか作りません、というのではあまりにもかけ離れてしまいますので、そういうところは協議しながら進めていきたいと思っています。
委員	P23 のコスモスのところの数値についてですが、今見込みが 23%と非常に少なくなっていますが、実際私が保育所に勤務していて保護者のニーズを聞いてみたら「コスモスに預かってもらいたい」という意見は非常に多いですが、預かってもらう条件が厳しいんですよ。怪我は預かってもらえないとか4人の定員があるので予約をしてもいっぱい使えないとか。だから23%しかニーズがないんじゃないかと利用したくてもできてないんです。私が勤務している保育所や近隣2・3園の話を知ると、保護者は結局預けられていないと。なので、ここの量は定員を増やすとかすればもっと割合上がると思います。実際保護者の方向人も使いたいという意見ききます。増やせるように、といってもなかなか難しいのかもしれませんが、保護者も困っているのでなんとか検討できないものではないでしょうか。
事務局	確かに、インフルエンザとかになると一気にかかりますので、どうしても早い者勝ちになってしまう。流行っていない時はだいたい0～1・2人くら

<p>委員</p>	<p>いで推移しています。インフルエンザ、ノロウイルスとかがはやると2週間くらいはずっと予約いっぱいになってしまうということが続いてしまうということが2月くらいは多いですね。そういうときはやはり予約とれない状況になってしまいますね。</p> <p>時間外保育のところ、幼稚園のことはよくわからないんですが保育所だと土曜保育、休日保育もしています。保護者の就労証明書を持ってきてもらうんですが、シフト表はあきらかに保護者の作ったもので、勤務でない日にも勤務に○をして持って来たりする。結局本当に仕事で困っている人がいるなかで保護者の方が自分で子どもをみるのがしんどい、息抜きがしたいということで使われているんだと思うんですが、自分もそれで保護者の方がリフレッシュできたらいいかなと思いますし、実際子育てしていたときにそういう気持ちになったのもわかります。わかるんですけども、土曜も休日も子どもを預けて…労基法で週に休みがあるはずなのに、子どもを1週間丸々預けているという人も何人かいらっしやいます。保護者の方には、「お休みあるでしょう？ずっと預かるのはかまわないですが家庭保育の時間大事ですよ」という話をするんですが、ひどい子は1か月丸々31日預けたままの子どももでてきています。それを思うと親のニーズに応えるのがいいのか…ひどく言えば育児の放棄じゃないですか。そういう方がだんだん増えてきている。やっぱり子どもも保育所でも荒れたり情緒不安定だったりということがでてきていますので。親のニーズに対応することも必要ですが、利用の仕方についての制約・条件というものはきちんとしたほうがいいのかなということは保育士として仕事をしている中ですごく感じます。</p>
<p>会長</p>	<p>確かに聞いたことありますね。社会貢献と思いながらやりすぎると親の育児・家庭保育を妨げているような気がするという。難しいですね。そういうことも加味しながらニーズをさぐらないといけない。あとは国のやり方ですのか市の方向性でだすのかまだはっきりしていないということで、市の方向性を踏まえた数字をだすとなると少し時間も手間もかかりますよね。今の数値から修正もまだ可能であるということですよ。</p>
<p>事務局</p>	<p>そうです。</p>
<p>会長</p>	<p>計算のことで何か質問とかあれば。P17以降の人日というのは？</p>
<p>事務局</p>	<p>延べ人数です。事業ごとに、「人」で数えるところと「延べ人数」で数えるところとあります。</p>
<p>会長</p>	<p>この数値で出すか、事務局のほうで算定した数値で出すかは後日わかるということですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>まだ県のほうから連絡がないのでどちらで報告したらよいかわからない状態ですので、事務局一任にしておいていただいて国の計算式で提出であればそのまま、市の目標ということであれば事務局で作業をさせていただいてまた本会議で報告ということをお願いできればと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>その数値に関しても修正可能ということですよ。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。計画を作るうえでの数値が大事になってきますので。</p>
<p>会長</p>	<p>ではそういうことをご了解いただけますか。その他も特にありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>素朴な疑問なんですが、就労タイプでひとり親家庭については、父子家庭</p>
<p></p>	<p>も？お父さんかなり収入があるので保育所は保育料が高い、幼稚園に入れた</p>
<p></p>	<p>いとなったら、認定を見る限り保育認定しかおりないですけど幼稚園もいけ</p>
<p>事務局</p>	<p>可能です。</p>
<p>委員</p>	<p>わかりました。</p>
<p>会長</p>	<p>他にございますか。ないようですので、本日の会議は終了したいと思います。お疲れ様でした。</p>
<p></p>	<p><b>【終了】</b></p>